

Ⅲ-1 子どものほめ方、叱り方を考えてみましょう

【プログラムのねらい】

・実際にありそうな場面を想定して、子どものほめ方と叱り方について考える。

【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶ アイスブレイキング</p> <p>・グループ分け(4~5人のグループに分ける)</p>	P2「アイスブレイキング各種」参照
30分	<p>▶ Work</p> <p>エピソード1を読み、「子どものほめ方と叱り方について」について考える。</p> <p>・幸子さん・子ども会役員・幸子さんのお母さん・観察者の役割を決めて、ロールプレイを行う。</p> <p>※各役割を演じた感想を発表する。</p> <p>・もし自分が幸子さんのお母さんであれば、どのような言葉を掛けるのか、理由とともに発表する。</p> <p>※頑張る気持ちをほめつつも、協力を申し出る人の気持ちに感謝する心が幸子さんに芽生えるような言葉掛けを皆で考える。</p> <p>・エピソード2を読み、お菓子を食べるきょうだい・注意をする別の家族の父親・注意を受けるきょうだいの母親・観察者の役割を決めて、ロールプレイを行う。</p> <p>※各役割を演じた感想を発表する。</p> <p>・最後の母親の言葉が子どもたちにどのような影響を与えるかを考え、発表する。</p> <p>※母親が、観劇中にお菓子を食べてはいけないことをあらかじめ子どもに分かるように諭しておくべきである。他人から注意を受けた場合には、素直に謝罪するだけでなく、感謝の気持ちを添えると、お互いに心地よいことを知ることも大切である。</p>	<p>ワークシート</p> <p>筆記用具</p> <p>役割分担名札</p> <p>可能なら、新聞の束を用意</p>
20分	<p>▶ グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <p>・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。</p> <p>・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。</p>	振り返りシート